

**2022 年度事業計画**  
(2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日)

## 1. 基本方針

当財団においては、財政的支援環境の極めて厳しい変化の中で、将来に向けての自律的な事業の推進の為、2011 年 10 月に移行認定を受け、公益財団法人として新たな一歩を踏み出した。当財団は、人間と技術の調和を基調とした科学技術の振興を図り、もって社会経済の発展に寄与することを目的とする。現在は科学技術の中でも特に人工知能（以下、AI）を多用した移動ロボットや制御に関する技術は、自動運転や、産業用ロボットのみならず、コミュニケーションロボット、サービスロボット等への展開が期待されており、これらを開発するエンジニアの育成も重要視されている。当法人の目的を達成するため、AI、メカトロニクス（注1）、及びロボティクス（注2）に関する分野を中心として、普及活動及び助成事業、広報事業、並びに情報交流及び国際交流を行う。

2022 年度の事業において、財団の財政基盤を勘案し、引き続き「全日本マイクロマウス大会の継続的な開催」を最優先課題とする。また、全日本マイクロマウス学生大会もエンジニアの健全な育成を目的とし当財団の公益事業として実施する予定である。特に全国大会の開催についての準備・運営は年度毎の実行委員会を新たに組織し、参加者を主体とするボランティアグループ（マウスサポーターズ）の協力を得ながら運営・実施となっており、引き続きその運営体制の確立に努力する。2022 年度は新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑み、大学での開催を模索しつつ、会場を選定して実行する計画をしている。また、学生大会については支援してきた内容と学生の人材育成も勘案しながら引き続き体制を整えていく予定である。2022 年度もこれらの大会の開催を計画している。

注1：メカトロニクス・・・機械工学（メカニクス、Mechanics）と電子工学（エレクトロニクス、Electronics）を合わせた和製英語で、機械装置に電子工学的知見を融合させることによって、新たな価値を求めようとする学問・技術分野。

注2：ロボティクス・・・狭義には、ロボット工学と呼ばれ、センサ／知能処理／効果器を有するシステムで、実世界で動作、相互作用するシステム。広義には、ロボット学と呼ばれ、実世界情報処理を中核とし、社会、人間との相互作用を介して、サービスを提供するシステム

## 2. 事業の実施計画

### 2-1 科学技術に関する普及、調査研究及びこれらに対する助成に関する事業

#### 2-1-1 メカトロニクス技術・ロボット技術の普及活動と助成事業

以下の各事業実施とともに、組織運営について見直しを行う。

##### 2-1-1-1 マイクロマウス 2022(第 43 回全日本マイクロマウス大会) の開催

今年度は各大学持ち回りでの運営も模索しながら、「マイクロマウス 2022 実行委員会」（実行委員長：東京工芸大学 鈴木秀和教授）にて計画・準備を行いながら、当日の運営についてもボランティアグループ（マウスサポーターズ）の協力を得ながら行う事とする。また、常置委員会としてのマイクロマウス委員会についても、それに伴う役割分担や協力体制の充実・確立の為に、さらなる再編成を行う。2 日間での開催を行う。

期 日：2022 年 11～12 月（予定）

会 場：未定（リアル開催予定、但し、オンライン大会も視野に入れる）

##### 2-1-1-2 全日本学生マイクロマウス大会の開催

今年度は各大学持ち回りでの運営も模索しながら事務局によって計画・準備を行う。当日の運営については従来通り学生ボランティアグループの協力を得ながら行う事とする。また、それに伴う役割分担や協力体制の充実・確立の為に、新規に体制の編成を行う。

期 日：2022 年 9 月（予定）

会 場：未定（リアル開催予定、但し、オンライン大会も視野に入れる）

##### 2-1-1-3 マイクロマウス各地区大会の共催と助成

・期 間：2022 年 7 月～12 月

・場 所：全国地方支部等（各地区にある支部、同好会含む 8 大会程度）にて開催予定

#### 2-1-1-4 つくばチャレンジ 2022 への協力

- ・主催：つくばチャレンジ実行委員会、つくば市
- ・共催・後援：関連団体
- ・協力：当財団、ほか関連団体
- ・日程：本走行・2022年11～12月（予定）（実験走行 6月～11月の間に実施予定）

#### 2-1-2 その他の普及活動

延期となっているデンソー社、刈谷市の共催技術普及イベントとしてのデンソーカップへの協力等

#### 2-2 広報事業

財団の事業活動について、ホームページならびにメールマガジン等の発行を中心としながら、財団事業の情報発信を積極的に実施する。

#### 2-3 情報交流・国際交流に関する事業

##### 2-3-1 海外におけるマイクロマウス大会の運営、その他について情報提供

2022年度は新型コロナウイルス感染拡大の状況を見据えながら、各国のマイクロマウス大会の運営、交流支援は要請があれば行う。

##### 2-3-2 「International Conference on Intelligent Robots and Systems 2022」

知能ロボットとシステムに関する国際会議 2022:略称 IROS2022 への開催協力

- ・期間：2022年10月
- ・場所：京都、日本（オンラインとの併催の可能性有）

#### 3. 資金調達及び設備投資の見込みについて

資金調達、設備投資（除却または売却を含む）については、今年度は重要なものはありません。公益事業向けのスポンサー、その他、今年度も引き続き、資金難が予想されるため、正味財産の取り崩しも視野に入れ、運営するものとします。これらを鑑み、当財団の財務改善の一環として、寄付賛同者を広く募ることを引き続き実施する。また、大会のスポンサー探しは急務として取り組むこととする。

#### 4. 総務関係

##### 4-1. 会議の開催予定

定例理事会、定時評議員会の開催

2022年5月 定例理事会

2022年6月 定時評議員会、理事懇談会

2023年2～3月 定例理事会、定時評議員会の開催

##### 4-2. 規程関係

電子帳簿保存法の施行に伴う規程の設置と施行

以上